

新型コロナウイルスに関する帰国者・接触者相談センター

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/covid19-kikokusyasesyokusya.html

新型コロナウイルスを含む感染症対策の基本

① 洗い ②咳エチケット 正しいマスクの着用

<https://www.mhlw.go.jp/content/10900000/000593493.pdf>

新型コロナウイルスを防ぐには [PDF 形式：159KB] NEW

<https://www.mhlw.go.jp/content/10900000/000596861.pdf>

新型コロナウイルス感染症について

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html

===

病院・智頭町としての検討課題は多々あります。

@ 除外診断：インフルエンザ、アデノウイルス、(RS ウイルス)、溶連菌

何れも、保険適用の迅速検査がある気道疾患

@ 発熱：高熱を呈した患者

→ 指定医療機関（公的には未公開・中病）の発熱外来が過飽和になる：智頭病院の体制作りは必須

===

相談センター（鳥取保健所）の電話が繋がらない・つながりにくい

→ 智頭町福祉課・智頭病院の体制作り（：時間内・時間外）

！ 対応の標準化：チェックリスト作成（：電話対応者による質を標準化）

===

独居高齢者・交通弱者、不安神経症的な反応をする方・対応困難な家庭

→ 救急車で受診？（：対応困難）

→ “おせっかい” なご近所、現状で機能している見守り支援・体制、町福祉課

===

理解者を増やし、智頭町全体での対応力を増す。～ 教育員会の社会教育

中学校、小学校、ちづ保育園を通じて、まずは、教職員の正しい理解を高める取り組み

+ 智頭町内で、高齢者が集団生活している施設関係者

仮称「智頭町新型コロナウイルス対策業議会」

===

○ 社会的に定着している《手洗い・うがい》→ “うがい” の技術（究極的にはこまめの飲水）を啓発

町報〔広報ちづ〕2月号は、単に《うがい》→ 啓発資料を作成：智頭病院（現行）HP で啓発

○ “咳エチケット” の前段階で、さらに重要な“咳は飲み込む”が盲点になっている。未啓発

○ マスクの過信：安易な着用は、ウイルスなど病原体を付着し、感染を広げることにもなる！盲点！

→ 国の啓発は不十分！

===

蔓延期：智頭病院でのトリアージ → 時間帯トリアージ、E棟・駐車場（車内待機）の活用

これらに係る図上シミュレーション（：模擬患者・医師・看護師・事務担当役を設定）

！ウイルス性肺炎：X線検査対応のシミュレーションも重要（放射線科内の動線・ポータブル機？）

===

未就園児・保育園児や学童は、新型コロナウイルス感染症例の報告が極めて希少（：理由??）

→ 通常受診対応で可